



PK戦でパラグアイに敗れて初のベスト8進出を逃し、悔しがる日本イレブン=29日、プレトリア



発行所 秋田魁新報社
秋田市山王臨海町1番1号
〒010-8601
©秋田魁新報社 2010年

日本 8強ならず

【プレトリア共同】サッカーのワールドカップ(W杯)南アフリカ大会で2大会ぶりに16強に進出した日本は29日、プレトリアのロフタス・バースフェルド競技場で行われた決勝トーナメント1回戦でパラグアイと対戦、延長を终えて0-0からのPK戦に3-5で敗れ、初のベスト8入りを逃した。

4大会連続4度目の出場場で1次リーグE組を2勝1敗の2位で突破した日本は、F組を1勝2分けの1位で通過したパラグアイを相手に前後半と延長を终えて無得点。PK戦は3人目の駒野友一(磐田)が外し、相手は5人全員が成功。過去の最高成績だった2002年日韓大会に並ぶベスト16で大会を終えた。

パラグアイ	0	延	0	0
(PK)	5	3	0	0
日本	0	長	0	0
	0	0	0	0

延長PK戦 パラグアイに惜敗



号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

mobile.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」本紙、当社ホームページをご覧ください。